

特集 防災マップ

自然災害から命を守る

今年の6月から7月にかけて、梅雨前線の活動が活発になり、九州や山陰、近畿、北陸地方などで大雨による土砂災害や浸水被害が発生し、死傷者や行方不明者が出ています。忘れたころにやって来るといわれる自然災害。

今月号では、市民の皆さんの防災意識の向上や災害による被害を最小限に抑えることを目的に作成し、皆さんの家庭に配布した『防災マップ』について、その必要性や内容などをお知らせします。

『防災マップ』を活用し、自分たちの地域や家庭での防災について、もう一度点検してみましょう。



▲昭和58年9月大雨災害



◀防災訓練